

化学療法レジメン申請書

診療科	呼吸器内科	申請医師	松本 尚也	提出日	2026/6/10
レジメン名称	Amivantamab(SC)+CBDCA+Pem				
対象の疾患	EGFR遺伝子エクソン20挿入変異陽性の切除不能な進行・再発小細胞肺癌				
適応の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
本治療の位置づけ	オシメルチニブ投与後の二次、三次治療				

治療内容	投与順	薬剤	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール															
						1日目	...	8日目	...	15日目	...	21日目	...	日目	日目						
サイクル1																					
No1		グラニセロン	3mg	30分	i.v	●															
		デキサメタゾン	9.9mg																		
		ホスアプレピタント	150mg																		
No2		ペトレキセト	500mg/m ²	10分	i.v	●															
		生理食塩液	100mL																		
No3		カルボプラチン	AUC=5	60分	i.v	●															
		生理食塩液	250mL																		
No4		ジフェンビドラン塩酸塩	25mg	アミバンタマブ投与60分前	p.o	●															
		アセトアミノフェン	1000mg					●													
No5		アミバンタマブ [®] (80kg未満)	1600mg	約5分かける	s.c	●															
		(80kg以上)	2240mg																		
No6		アミバンタマブ [®] (80kg未満)	2400mg	約5分かける	s.c	●															
		(80kg以上)	3360mg					●													
サイクル2~4																					
No1		グラニセロン	3mg	30分	i.v	●															
		デキサメタゾン	9.9mg																		
		ホスアプレピタント	150mg																		
No2		ペトレキセト	500mg/m ²	10分	i.v	●															
		生理食塩液	100mL																		
No3		カルボプラチン	AUC=5	60分	i.v	●															
		生理食塩液	250mL																		
No4		ジフェンビドラン塩酸塩	25mg	アミバンタマブ投与60分前	p.o	●															
		アセトアミノフェン	1000mg					●													
No5		アミバンタマブ [®] (80kg未満)	2400mg	約5分かける	s.c	●															
		(80kg以上)	3360mg																		

化学療法レジメン申請書

投与順	薬剤	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール								
					1日目	・・・	8日目	・・・	15日目	・・・	21日目	日目	日目
サイクル5以降													
No1	グラニセロン	3mg	30分	i.v	●								
	デキサメタゾン	9.9mg											
No2	ペムレキセト	500mg/m ²	10分	i.v	●								
	生理食塩液	100mL											
No3	ジフェンヒドラミン塩酸塩	25mg	アミバンタマブ投与60分前	p.o	●								
	アセトアミノフェン	1000mg											
No4	アミバンタマブ [®] (80kg未満)	2400mg	約5分かける	s.c	●								
	(80kg以上)	3360mg											
総投与時間	5～105分												
1サイクル期間	21日間												
ポスト・プレメディケーション	Pem ・ビタミンB12・1mgを筋注(9週毎) 投与7日前からハンピタン末1gを内服 制吐剤として下記の内服を検討する ・デキサメタゾン8mg/day (Day2-3: サイクル1~4)												
根拠文献	Amivantamab plus Chemotherapy in NSCLC with EGFR Exon 20 Insertions : N engl j med 389;22 nejm.org november 30, 2023 PALOMA-2試験												
その他	Amivan ・ポリプロピレンまたはポリカーボネートのシリンジとステンレス銅製の注射針を使用 ・翼状針で投与する場合は、ポリエチレン、ポリウレタンまたはポリ塩化ビニル(PVC)のチューブ、コネクター等を用いる ・21～23ゲージの注射針または皮下投与セットの使用が推奨される ・腹部皮下に約5分かけて投与 ・低Mg血症のため投与開始まえに測定を行う ・HFS他皮膚障害予防のため保湿を投与開始から行う ・皮膚障害出現時にはミノサイクリン塩酸塩錠100mg/dayの投与と外用ステロイド剤の使用を検討する												